

資料番号		-01-002-01	-01-005-01	-01-006-01	-01-007-01	-01-008-01
調査年月日		2006/9/26	2006/9/26	2006/9/26	2006/9/26	2006/9/26
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男
名称		捺染 標本 パイル織物	捺染 標本 パイル織物	捺染 標本 パイル織物	捺染 標本 パイル織物	捺染 標本 パイル織物
糸	素材	ベース 木綿・木綿	ベース 木綿・木綿	ベース 木綿・木綿	ベース 木綿・木綿	ベース 木綿・木綿
	タテヌキ				ベース 木綿・木綿 パイル 木綿	
	タテ				黄、濃い茶、ピンク、茶、赤、グリーンの捺染	
色	地色	紺色	濃いグレー色、3色捺染 淡色、濃い紺(細縞)、中灰(水玉)	黒の浸染に銀色の捺染	黄、濃い茶、ピンク、茶、赤、グリーンの捺染	地色 赤 白、黒
	タテ				黄、濃い茶、ピンク、茶、赤、グリーンの捺染	
	ヌキ					
加工技法	織技法	紺色のパイル織物で地は未晒し木綿、パイルは先染め絹	パイル織物 パイル、地とも木綿	パイル織物 パイル、地とも木綿	パイル織物 パイル、地とも木綿	パイル織物
	染技法	ローラー捺染で絹の抜蝕剤を捺染して乾燥後後処理(熱処理)して絹を焼き抜きして水玉模様加工したもの	全体を薄い青色に浸染し、ローラー捺染にて縞と水玉を捺染している。見る方向によって捺染模様が見難いことがある	全体を黒色に浸染し、ローラー捺染にて銀粉(錫?)を捺染している。	ローラー捺染による直接捺染	ローラー捺染による直接捺染 捺染後、カレンダー加工にてパイルを片方向に寝かせ光沢を得ている。これにより朱子織りの感覚が得られている。
	その他	裏面に裏糊加工がされている(毛抜け防止)	裏面に裏糊加工がされている(毛抜け防止)	裏面に裏糊加工がされている(毛抜け防止)	裏面に裏糊加工がされている(毛抜け防止)	
文様		白抜き水玉模様	細い縦縞、水玉	大小の点の集合でデザインしている	ペスリー柄が縞状になっている。	白水玉の中に黒の玉があり、これが全体にある。
形状		布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm
用途		服地	服地	服地	服地	服地
特記事項						
調査所見			染色では淡色の青色を浸染で染色しその上から細かい経てスジ模様の捺染に加えて捺染で水玉の染色を行っていたものと推定される。			
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦	布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm	布サンプル 約70cm×100cm
	横					
	織耳備考					

資料番号		-01-011-01	-02-002-01	-02-003-01	-02-004-01	-02-030-01	-03-009-01
調査年月日		2006/9/26	2006/10/3	2006/10/3	2006/10/3	2006/10/10	2006/10/17
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男
名称		捺染 標本 パイル織物	捺染 標本	捺染 標本	捺染 標本	捺染 標本	染色品標本 (外国品)
糸	素材	ベース 木綿・木綿	絹	絹	絹	絹	絹
	タテ		絹	絹	絹	細い絹	絹
	ヌキ		絹	絹	絹	絹	絹
色	地色	地色 赤 赤みの茶、黒	白 変色してクリーム色	茶色地色、緋 (赤、グリーン、	それぞれ先染め	赤、淡赤、淡緑、紫、淡紫、黒	白地 黄変している
	素材*限定						
	タテ				茶色		
	ヌキ				又 赤紫、茶色が交互織り込み		
加工技法	織技法	パイル織物で先染めの縞の経糸にて縞を表し、製織後にパイルを切っている。	朱子地に地模様	経糸を黒地色の緋とし、それに赤色の緯糸を織り込み紋織り手法にて緯糸を発現さすことで模様としている	少々細い緯糸が織られ光沢が良い織物となっている	細デニールの経糸、太い緯糸の平織	軽目の生地。五枚縹子
	染技法	毛羽が立ったものをエンボッシングカレンダーにて経緯で4cm間隔に一部幅を太くした型ロールでパイルを押し圧にて部分的に寝させて凹凸を作り、表面効果を得ている。	地模様ブロック捺染又は手描き(地紋起こしプラスぼかし)大きい地紋にしており、柄合わせがよく出ている。	縦方向中央の折れで左右対称に模様が配置され、それぞれがまた左右対称の紋紙となっているのいたしい緋部分がずれており、対称部分の模様の違和感を緩和している。	生地を縦方向に二つに折り、ペーパーカレンダー加工している。裏面の糸目が扁平と成っている	ローラー捺染。	ローラー捺染
	その他						
文様		縦縞	花柄 地紋が花柄でそれにクリーム色の捺染	花柄 緋模様、緯糸の赤糸で織り模様	無地 モアレ模様入り 表面にフリーハンドで書いたような赤紫グリーン色の模様あり。	地は黒	花柄
形状		布サンプル 約70cm×100cm	裂地 60cm×95cm	裂地70cm×95cm	裂地70cm×95cm	緋様の模様に花柄、レース柄	裂地標本 60×90 cm
用途		服地	服地、カーテン	服地、壁紙	服地、壁紙	裂地59cm×100cm	服地
特記事項					二重ねで強圧されたために重なり部分にモアレ柄が対称位置に出現している	裏面への浸透良好	
調査所見							
製作地							
製作年							
織名称							
法量	縦	布サンプル 約70cm×100cm	裂地 60cm×95cm	裂地70cm×95cm	裂地70cm×95cm	緋様の模様に花柄、レース柄	裂地標本 60×90 cm
	横						
	織耳						
備考							

資料番号		-03-011-01	-03-017-01	-03-024-01	-04-008-01	-04-009-01
調査年月日		2006/10/17	2006/10/17/	2006/10/17	2006/10/24	2006/10/24
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男
名称		染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)
糸	素材	木綿	木綿	絹	麻と絹	木綿
	タテ	木綿	木綿	絹	生糸(地経)、練り絹(縹子経)	木綿
	ヌキ	木綿	木綿	絹	木綿	木綿
色	地色	黒地色	紺色無地	黄土色の地色	4色捺染	4色捺染 緑、青、淡青、ピンク
	糸色					
	タテ					
	ヌキ					
加工技法	織技法	木綿糸による緯糸方向の4本縹子(確認していません)	木綿糸による平織り	軽目織物で平織り地に浮出し地紋がある。	緯糸に麻糸を使い全体の地に部分には絹の生糸使って軽目の透けた織物で経に練る絹で縹状に縹子織り部分がある。縹子部分10cmの繰り返しで5mmの縹子、地部分10mm、25mmの縹子、10mmの地、5mmの縹子、45mmの地の繰り返しとなっている。	経糸に太い綿糸を使い緯糸に細い糸で縹子曲がり縹子と同じ様に織られている。
	染技法	ローラー捺染で抜染によるものと推定する	浸染加工後エンボッシングカレンダーによる表面線加工模様を施してある。表面のみ	ローラー捺染で縹模様の捺染しその後重ねてペズリー柄を重ねて捺染をしている	ローラー捺染で染色されているが麻には発色が悪く、縹子部分の発色が良い	ローラー捺染で染色されている。仕上げでは裏面に裏糊加工(?)され、硬く仕上がっており、両面に模様のエンボス加工がされている。
	その他	捺染部分の裏は未抜染の黒色が残留している				
文様		変形花柄	幾何模様の光沢変化模様	花柄による縹模様に黒線のみペズリー模様を重ね染め	小さい花柄	小さい花柄
形状		裂地標本 72 × 100 cm	裂地標本 96 × 100 cm	裂地標本 58 × 95 cm	裂地標本 51 × 101 cm	裂地標本 90 × 103 cm
用途		服地	服地	服地	服地	壁紙用
特記事項		ペーパーカレンダー加工で表面平滑、艶出しされている				
調査所見						
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦	裂地標本 72 × 100 cm	裂地標本 96 × 100 cm	裂地標本 58 × 95 cm	裂地標本 51 × 101 cm	裂地標本 90 × 103 cm
	横					
	織耳					
備考						

資料番号		-05-003-01	-05-005-01	-06-005-01	-07-001-01	-07-002-01
調査年月日		2006/10/24	2006/10/24	2006/10/31	2006/10/31	2006/10/31
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男
名称		染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)	染色品標本(外国品)
糸	素材	木綿	木綿	絹/木綿	木綿	木綿
	タテ	木綿	木綿	絹	木綿	木綿
	ヌキ	木綿	木綿	木綿	木綿	木綿
色	地色	表面 白、黒顔料 捺染	表面 白顔料 捺染	地色 白	地色 えび茶	地色 黄色味の濃いグレー
	素材*顔料					
	タテ					
	ヌキ					
加工技法	織技法	厚手の木綿緯縹子織り	厚手の木綿緯縹子織り	細かい地模様があり、経糸を浮かして模様としている。	木綿平織(金巾)	木綿平織に経縹模様入り 経縹には太い綿糸6本を纏めて1本としてある。この太糸3本の間に細い糸4本があり、三本の糸の固まりのまで12本の隣の細い糸があって縹となっている
	染技法	表面にはしろ、黒色顔料による捺染、裏面は焦げ茶色の顔料を全面にしごいてある。表面地入りがグレーに見えるが染色か、裏面の透過によるものか不明	まず、全体を薄ブルーに浸染し、表面には白色顔料で捺染、裏面にはローラーまたは他の機械で顔料によるしごき染めしてある。	紺の様な模様の捺染柄で花柄を表現している。酸性染料を主用していると見られ経糸の絹の発色がよく、緯糸の木綿には発色が悪くなっている。	浸染でえび茶色に染色した金巾にローラー捺染で細かい花柄を抜染で柄付けした。細かい点状の模様からローラーの彫刻技術の高いことが伺われる	ローラー捺染で白場と地場の濃いしごきを行っている。生地地の地紋に入っている縹はしごきでの染めにて淡い縹となっているが効果は低い。
	その他	表面の光沢がみられカレンダー仕上がりである。		しかし、絹による発色が良いために美しい捺染柄が表現できている。		
文様		小さい花柄	幾何模様	花柄	小さな花柄 (1個11mm 8個/20mm)	丸を使った幾何模様
形状		裂地標本 99×103 cm	裂地標本 100×97 cm	裂地標本 100×50 cm	裂地標本 104×80 cm	裂地標本 97×77.5 cm
用途		壁紙用	壁紙用	壁紙or 服地	壁紙用or 服地	壁紙用or 服地
特記事項						
調査所見						
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦	裂地標本 99×103 cm	裂地標本 100×97 cm	裂地標本 100×50 cm	裂地標本 104×80 cm	裂地標本 97×77.5 cm
	横					
	織耳					
備考						

AN.-19

資料番号		-07-003-01	-08-005-01
調査年月日		2006/10/31	2004/11/7
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男
名称		染色品標本(外国品)	捺染 標本(本品は浸染による無地染)
糸	素材	木綿	絹/羊毛交織
	タテ	木綿	絹、地経 絹
	ヌキ	木綿	羊毛
色	地色	地色 黒 捺染部の丸 淡	赤色 無地
	糸色		
	タテ		
	ヌキ		
加工技法	織技法	木綿平織(金巾)	二重織りとなっている。上部の薄絹織りと絹地経と羊毛の緯糸で裏側の生地が構成され、地経をジャガードにて模様を表現していると同時に生地のふくらみを生じるように工夫されている。
	染技法	黒地に浸染してからローラー捺染にて水玉模様に着色抜染してある裏面に浸透ムラあり、抜染と考える。	浸染により全体を染色しているがその際の表の絹地と羊毛の裏糸が収縮差を生じて生地にふくらみを発生させている。
	その他		おそらく染色後に裏の羊毛地に起毛加工してふくらみを増長させてある。
文様		水玉模様	横方向に不規則な畝状ふくらみの連続
形状		裂地標本 100×76.5 cm	裂地 118×92 cm
用途		服地	服地
特記事項			
調査所見			
製作地			
製作年			
織名称			
法量	縦	裂地標本 100 ×76.5 cm	裂地 118×92 cm
	横		
	織耳		
備考			